

日本臨床麻酔学会誌投稿規定

1. 投稿資格と掲載論文

1) 『日本臨床麻酔学会誌』は、日本臨床麻酔学会、日本静脈麻酔学会、日本医学シミュレーション学会、日本臨床モニター学会、日本区域麻酔学会、日本麻酔・医事法制研究会の合同刊行です。原則として著者は、上記学会・研究会の会員とします。

2) すべての投稿論文は、臨床麻酔に直結した研究、及びこれに関連した基礎的研究に限ります。なお個人情報への配慮が適切になされ、ヘルシンキ宣言の精神に則って行われ、倫理的に配慮されていること、「日本臨床麻酔学会研究倫理指針」(http://jsca.umin.jp/about_us/rinrishishin.html)を遵守していること、および他誌に投稿中でないことと未発表であることはすべての論文に必要です。

(i) ヒトを対象とした研究では、研究実施前に所属施設の承認を受けて実施したこと、患者の承諾を得ていることを本文中に明記してください。

(ii) 編集刊行委員会が必要と認めた場合には、所属施設の承諾書の承認等の関係書類の提出を求めることがあります。

ヒトを対象とした臨床研究においては、本文中に当該施設の倫理委員会等の承認番号を明記すること。

3) 論文の種類

総説、原著、症例報告、短報、紹介、コラム(Letter to the Editor含む)とします。

4) 掲載された論文等は独立行政法人科学技術振興機構が主催する電子ジャーナルサイト J-STAGE (<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>)で公開します。なお掲載論文等の著作権は日本臨床麻酔学会に属します。

2. 投稿の方法と提出書類(誓約書とチェックリスト)

1) 投稿の方法

論文の投稿は、オンライン(J-STAGE)の投稿審査システム(<http://mc.manuscriptcentral.com/jjsca>)による電子投稿で受け付けます。

学会ウェブサイトの投稿案内を確認して進めてください。

2) 提出書類

投稿の際には、誓約書、チェックリスト、利益相反(COI)申告書を提出してください。(誓約書、チェックリスト、利益相反(COI)申告書は本誌に綴り込みの用紙をコピーするか学会ウェブサイトからダウンロードすること)

誓約書:「本論文の内容は他誌に未発表であり、また現在投稿中ではない」ことを明記してください。また、施設の承認と患者の承諾について1. 2)を参考に記載してください。論文題名、共著者全員の署名・捺印とその日付を記してください。

チェックリスト:主著者が署名・捺印したものを提出してください。

誓約書とチェックリストはPDF等のファイルにしてシステム上で添付するか、郵送してください。

3. 原稿の書式

1) 原稿はすべてA4判で作成し、12ポイント文字で横書きとしてください。また、原稿にはページ番号を付け、ページごとに行番号を付けてください。(Microsoft社Word機能を使用)

論文原稿はMicrosoft社のWordで作成してください。図表はMicrosoft社のExcel、PowerPointあるいはJPEG形式のファイルで作成してください。

投稿の際は原稿(図表等を含む)のオリジナルデータを投稿者の手元に必ず保存してください。投稿画面で作成したデータは一定期間で削除されます。投稿後も同様ですのでご注意ください。

2) 投稿は、和文または英文で受け付けます。英文(全文、抄録とも)は、必ずネイティブチェックを受けてから

投稿してください。その場合、英語医学論文の校正を専門に行っている会社にネイティブチェックを依頼してください。知人に依頼する場合は、自然科学専攻者で学術論文を書きなれているネイティブのチェックを受けてください。

【和文の場合】

投稿する論文の第1ページに日本語表記による表題、著者名(6名まで)、所属機関名、著者連絡先(氏名、郵便番号、住所、所属機関名、電話番号、電子メールアドレス)、論文原稿の枚数、字数、図表の点数を記載してください。第2ページには和文要旨(300字以内)、キーワード(5語まで)、第3ページ以降、本文、参考文献、200語以内の英文抄録(英語の表題、著者名、所属機関名、キーワードを含む)、図表の説明の順に記載してください。

【英文の場合】

投稿する論文の第1ページに英語表記によるtitle(表題)、authors(著者名;6名まで)、affiliation(所属機関名)、著者連絡先(氏名、郵便番号、住所、所属機関名、電話番号、電子メールアドレス)、論文原稿の枚数、字数、図表の点数を記載してください。第2ページには英文抄録(200語以内)、キーワード(5語まで)、第3ページ以降、本文、参考文献、300字以内の和文要旨(日本語の表題、著者名、所属機関名、住所、キーワードを含む)、図表の説明の順に記載してください。なお、英文投稿の場合は必ずダブルスペースとしてください。

3) 字数は、総説12,000字以内、講座及び原著論文10,000字以内、症例報告6,000字以内、紹介及び短報4,000字以内、コラムは1,000字以内にまとめてください。英文の場合は、総説・講座・原著:3,000~4,000語程度、症例報告・紹介:1,000~1,500語程度、短報:500~1,000語程度とします。文献、英文抄録、図、表も上記の字数に含まれます。図表等は、大1点につき800字、小1点につき400字を目安にしてください。

4) 原稿は、楷書、横書き、ひらがな、新かなづかい、口語体、当用漢字を使用し、改行の際は冒頭を1字分あけてください。

5) 医学用語は、『麻酔科学用語集第4版』(日本麻酔科学会編)及び『日本医学会 医学用語辞典 WEB版』に準じてください。なお、用語やかなづかいは、編集の際に訂正することがあります。

6) 文中の外国語の表記は、普通名詞については文頭は大文字、文中は小文字、固有名詞については大文字としてください。また、外国語の用語、人名は原語のまま表記してください。

7) 薬品名は一般名を原則とし、商品名を併記する必要がある場合は初出のみとし、一般名の後に括弧して記載してください。

8) 数字はアラビア数字を用い、度量衡の単位はSI単位系を原則とします。ただし、日常臨床において広く用いられている%、mmHg、cmH₂O、mL、dL等による表記も認めます。除算は、すべて「10mg/kg/h」「3L/min」のように表記してください。

9) 引用文献は重要なもののみとし、文中に引用順に肩付き番号を付け、本文の末尾に番号順にまとめてください。記載は以下の様式に従ってください。いずれの場合も著者が4名以上の場合には3名まで記載し、残りは、和文の場合「ほか」、英文の場合「et al.」と略記してください。

日本語の雑誌名は省略せず、全部を記載してください。英文誌は「PubMed」(NCBI作成)に登録されている場合、略誌名、著者名、題名の表記はそれに準じてください。

☆雑誌の場合

著者名:題名、誌名 巻:始頁-終頁、年

〈例〉1) 鈴木久人, 下弘一, 竹内健二ほか:挿管操作に伴

う口唇裂傷の頻度, 部位, 予防法. 日本臨床麻酔学会誌 19: 597-600, 1999

- Lee TL, Ang SB, Dambisya YM, et al.: The effect of propofol on human gastric and colonic muscle contractions. *Anesth Analg* 89: 1246-1249, 1999

☆書籍・単行本の場合

著者名: 章名, 書名(版数). 編集者名, 出版社名, 出版社所在地名, 年, 始頁-終頁

- 〈例〉1) 田中敦子, 平賀一陽: 抗菌薬, 抗腫瘍薬, 研修医のための麻酔科領域薬剤の使い方. 小川龍編, 克誠堂出版, 東京, 1995, 211-214
- Chung F: Postoperative mental dysfunction. *Geriatric Anesthesiology*. Edited by McLeskey CH, Williams & Wilkins, Baltimore, 1997, 487-495

◎早期公開など, 巻・頁が未定の場合, “Epub ahead of print”としてオンラインで発表されている文献は, DOI(Digital Object Identifier)を併記してください。ただし, 巻・頁が決定している場合は巻・頁明記の上, 雑誌として記載してください。

【巻・頁未定の場合】

著者名: 題名, 雑誌名, 発行年(西暦); doi [Epub ahead of print]

※掲載が確定していないものは文献として引用しないこと。in press(印刷中)は引用可能ですが, 投稿中, 投稿準備中のものは文献として引用できません。

◎ガイドラインなどインターネット上でのみ公開されている文献は, URLとともにその文献が公開された年月日, 公開日が不明な場合はアクセス(閲覧)した日を記載してください。

発行機関名(調査/発行年): 表題, 〈URL〉(閲覧年月日)

- 〈例〉1) 日本麻酔科学会: 偶発症例調査. 〈<http://www.anesth.or.jp/med/post-5.html>〉(2017.9.20閲覧)
- 日本麻酔科学会安全委員会(2016): 悪性高熱症患者的の管理に関するガイドライン2016. 〈http://www.anesth.or.jp/guide/pdf/guideline_akuseikounetsu.pdf〉(2017.9.20閲覧)
 - 厚生労働省: 後期高齢者医療制度について. 〈<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihosho/iryouseido01/info02d-35.html>〉(2017.9.20閲覧)

10) 図表は1点につき1枚の用紙を使用し, 文中に挿入箇所を明記してください。図表の説明は, 図表とは別の用紙にまとめて記載してください。また, 他の論文等より引用する場合は出典を明記してください。特に書籍から引用する場合は, 掲載許可を得てください。図はそのまま印刷原稿として使用しますので, 文字や線のつぶれがないようご注意ください。原則として図(写真)は, モノクロで掲載することとします。

〈作成ファイルの注意点〉

表はExcel, PowerPoint等で作成し, 画像化しないでください。図は1点につきA4サイズ以内で作成してください。画像(X線写真, CT画像など)の解像度は300dpi以上が望ましく, グラフも鮮明で印刷に適したクオリティになるように作成してください。ただし, アップロードするファイルは合計で20MBまでとします。

- 審査
投稿論文は編集刊行委員会で審査し, 採否を決定します。
- 校正
著者校正は, 原則として初校のみとします。

図表料金表

		単位: 円(税抜)	
トレース(1点)	図・表組(1点)	写真製版(/cm ²)	
3,000 ~ 5,000	1,000 ~ 5,000	1,500	

- 別刷
掲載論文には, 掲載誌1部と別刷30部(コラム欄掲載分は掲載誌1部のみ)を贈呈します。必要別刷部数は, 著者校正の際に確認させていただきます。
- 著者負担の経費
 - 原稿超過分は別途請求致します。
 - カラー写真は原則として掲載しません。特に掲載希望の場合は実費を請求します。
 - 誌面の統一上, 不適当な図表については版下代を請求致します。
 - 別刷は30部を無料とし, それ以上は50部単位で受注致します。有料分の別刷料金は下記価格表に基づいて請求致します。また, コラム欄掲載分については, 別刷は有料分のみとなります。

別刷料金表

		単位: 円(税込)				
1論文	4頁以内	6頁以内	8頁以内	12頁以内		
50部まで	31,020	43,670	58,300	71,170		
100 "	39,820	55,440	70,180	82,720		
150 "	47,080	64,900	82,060	93,500		
200 "	54,450	75,680	92,510	102,960		

- 投稿に関する問い合わせ先

〒111-0054

東京都台東区鳥越2-13-8

株式会社ライフメディコム内

「日本臨床麻酔学会誌」編集室

TEL 03 (5809) 1961 FAX 03 (5820) 1898

E-mail: rinma-review@lifemedicom.co.jp

学会員の皆様へ

[投稿論文の受付方法について]

ご投稿はJ-STAGEの投稿審査システムで受け付けます。投稿方法の詳細は学会ホームページで案内しておりますので, ご確認ください。

[特別演題(依頼論文)ご執筆について]

日本臨床麻酔学会誌編集刊行委員会では, 年次総会における講演, シンポジウム, パネルディスカッション, セミナー等の演者の先生方に, それぞれのご発表内容をまとめてご執筆いただけるようお願いしています。引き受けてくださった先生の論文は随時学会誌に掲載させていただいております。これにより, 当該の講演を聴くことができなかった会員, 総会に参加することができなかった会員にまで, 有益な情報を広く提供できると期待しています。

同様の執筆の依頼が重なる場合もあると存じますが, 日本臨床麻酔学会で発表される演題ですので, 演者の先生方には当委員会からのお願いを優先していただければ幸いです。

日本臨床麻酔学会誌編集刊行委員会

日本臨床麻酔学会誌論文投稿チェックリスト

1. 投稿論文について

- 臨床麻酔に直結した研究かこれに関連した基礎的研究である。
- ヘルシンキ宣言の精神に則って行われ、「日本臨床麻酔学会研究倫理指針」を遵守している。対象となる個人情報への配慮が適切になされている。
- 適切な形で説明と同意取得がなされた上で研究が実施されている。
- 投稿論文は、その内容が過去に他誌に掲載されておらず、今後も掲載予定がない。
- ※「日本臨床麻酔学会研究倫理指針」については、学会ホームページをご確認ください。

投稿論文は、下記のうち何れかであること(該当するものにチェックしてください)：

- ヒトを対象とした研究で、実施前に所属施設の承認と患者の許諾があり、その旨の記述が本文中にある。
- ヒトを対象としていないが、臨床麻酔に直結した研究・基礎的研究である。

2. 誓約書について(PDF添付もしくは郵送)

- 論文題名が付記されている。
- 著者全員の署名・捺印及び日付が記載されている。

3. その他の提出書類

- 利益相反(COI)申告書に適切に記入している。

4. 原稿の形態について

- A4サイズで、12ポイントの横書きである。ページごとに行番号を付けている。
- ページ番号を付けている。
- 第1ページに日本語(英文投稿の場合は英語)表題、著者名(6名まで)、所属機関名、著者連絡先、原稿枚数、字数、図表点数が記載されている。
- 第2ページに和文要旨(300字以内；英文投稿の場合は200語以内の英文抄録)、キーワード(5語まで)が記載されている。
- 第3ページ以降、本文、参考文献、200語以内の英文抄録(表題、著者名、所属機関名、キーワードを含む；英文投稿の場合は日本語の表題、著者名、所属機関名、住所、300字以内の要旨、キーワード)が記載されている。
- 要旨キーワードの語数と抄録キーワードの語数が一致している。
- 字数が制限内におさまっている。
- 図表は1点につき1枚の用紙で、印刷に不具合がないクオリティーで作成し、モノクロ掲載に適している。
- 別紙に図表の説明が記載されている。また、本文中に挿入箇所が明記されている。
- 論文原稿のファイルは適切なファイル形式で作成している。(原則としてテキスト部分はMicrosoft Word、図表はMicrosoft Excel、PowerPointまたはJPEG形式で保存)
- 手元に原稿データの控えが用意されている。

5. 用語表記等について

- 外国語の用語等は、必要に応じて原語表記で記述している。
- 薬品名は一般名で表記されている。商品名は初出のみで括弧書きされている。
- 数字はアラビア数字を用い、単位表記がSI単位系に準じている。
- その他の用語は、『麻酔科学用語集』『日本医学会 医学用語辞典 WEB版』に準じている。
- 英文(全文、抄録とも)は、ネイティブチェックを受けている。

6. 引用文献について

- 引用した文献は妥当である。
- 著者数の数、ピリオド、カンマ等の記号の記載様式が規定に準じている。

7. 投稿する学会・研究会について(必ず1つチェックして下さい)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 日本臨床麻酔学会 | <input type="checkbox"/> 日本静脈麻酔学会 | <input type="checkbox"/> 日本医学シミュレーション学会 |
| <input type="checkbox"/> 日本臨床モニター学会 | <input type="checkbox"/> 日本区域麻酔学会 | <input type="checkbox"/> 日本麻酔・医事法制研究会 |



※詳細は、「日本臨床麻酔学会誌投稿規定」をご参照下さい。

誓約書

論文表題：

《以下のチェックボックスに✓を記入》

- 論文の投稿にあたっては、「日本臨床麻酔学会 研究倫理指針」および各種の“指針”を遵守し、その責務を全著者が負うものとする。
- 論文の内容は、他誌に未発表である。
現在どの雑誌へも投稿中ではない。
本誌掲載決定後に他誌で発表しない。
- 臨床研究ならびに症例報告にあたっては、患者(両親や保護者)からの同意について：
インフォームドコンセントを取得済みである。
施設の規定に準拠している。

※ヒトを対象とした臨床研究の場合：

承認番号()

以上を確認のうえ、「日本臨床麻酔学会誌」に投稿します。

「日本臨床麻酔学会誌」に掲載後は、本論文の著作権が日本臨床麻酔学会に帰属することを承諾します。

◎著者・共著者の署名・捺印(6名まで)

Ⓜ	年	月	日
<hr/>			
Ⓜ	年	月	日
<hr/>			
Ⓜ	年	月	日
<hr/>			
Ⓜ	年	月	日
<hr/>			
Ⓜ	年	月	日
<hr/>			

※希望する論文種別《チェックボックスに✓を記入》

- 総説 原著論文 症例報告 短報 紹介 コラム

最終決定は、編集刊行委員会が行います。

臨床麻酔学会機関誌で発表を行う著者の利益相反(COI)申告書

論文題名 _____

年 月 日

著者 氏名 _____

投稿日の1年前から投稿日までについて記入すること

金額 (年間)	該当の状況 ○をつける	該当の有る場合、企業名等	金額 (円)
(1) 役員・顧問職	100 万円以上	有・無	
(2) 株	利益 100 万円以上 または 全株式の 5%以上	有・無	
(3) 特許使用料	100 万円以上 (1 企業当たり)	有・無	
(4) 講演料など	100 万円以上 (1 企業当たり)	有・無	
(5) 原稿料など	100 万円以上 (1 企業当たり)	有・無	
(6) 研究費	200 万円以上	有・無	
(7) 奨学寄付金 (奨励寄付金)	200 万円以上	有・無	
(8) その他報酬	30 万円以上	有・無	

著者の配偶者、一親等の親族、収入・財産を共有する者の
利益相反(COI)申告書

年 月 日

該当者氏名 _____ (著者との関係: _____)

投稿日の1年前から投稿日までについて記入すること

	金額 (年間)	該当の状況 ○をつける	該当の有る場合、企業名等	金額 (円)
(1) 役員・顧問職	100 万円以上	有・無		
(2) 株	利益 100 万円以上 または 全株式の 5%以上	有・無		
(3) 特許使用料	100 万円以上 (1 企業当たり)	有・無		
(4) 講演料など	100 万円以上 (1 企業当たり)	有・無		
(5) 原稿料など	100 万円以上 (1 企業当たり)	有・無		
(6) 研究費	200 万円以上	有・無		
(7) 奨学寄付金 (奨励寄付金)	200 万円以上	有・無		
(8) その他報酬	30 万円以上	有・無		